

Press Release

2018年3月6日

鳥取大学とアステラス製薬 免疫賦活遺伝子搭載腫瘍溶解性ウイルスに関する 全世界における独占的ライセンス契約を締結

国立大学法人鳥取大学(所在地:鳥取、学長:豊島 良太、以下「鳥取大学」とアステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:畑中 好彦、以下「アステラス製薬」)は、免疫賦活遺伝子搭載腫瘍溶解性ウイルスの開発・商業化に関する全世界における独占的ライセンス契約*1を締結しましたのでお知らせします。

腫瘍溶解性ウイルスは、選択的に腫瘍細胞内で増殖し、腫瘍細胞を破壊し、抗腫瘍効果を示します。今回契約の対象となる免疫賦活遺伝子搭載腫瘍溶解性ウイルスは、上記の抗腫瘍効果に加え、複数の遺伝子産物による自然免疫*2と獲得免疫*3の活性化により、既存のがん免疫療法で奏功しない、すなわち腫瘍組織にリンパ球が浸潤していない腫瘍に対しても、抗腫瘍免疫を誘導することが期待されています。

鳥取大学の医学部長である廣岡保明は次のように述べています。「大学院医学系研究科の中村貴史准教授らが MEXT(文部科学省)・AMED(日本医療研究開発機構)の支援によって進めてきた腫瘍溶解ウイルスに関する長年の研究成果を基に、アステラス製薬との共同研究を推進し、今回の免疫賦活遺伝子搭載腫瘍溶解性ウイルスに至りました。本取り組みは独創性の高い研究に取り組む鳥取大学とアステラス製薬のお互いの英知を集集させて成し得た成果であり、この度の契約により革新的がん治療法開発へと前進できることを喜ばしく思います。今後も本産学連携を継続発展させることによって、新たな腫瘍溶解性ウイルスの開発を推進していきます。」

アステラス製薬の代表取締役副社長 上席執行役員経営戦略・販売統括担当である安川 健司は次のように述べています。「革新的ながん免疫治療につながることを期待される免疫賦活遺伝子搭載腫瘍溶解性ウイルスに関し、独占的なライセンス契約を締結できたことを嬉しく思います。この取り組みはアステラス製薬の新規モダリティへの挑戦の一環でもあります。アステラス製薬は、持続的な成長を支える重要なフランチャイズの一つであるがん領域において、開発パイプラインの拡充を図っていきます。」

以上

- *1 基盤技術にかかる一部権利は非独占的。
- *2 **自然免疫**: ある種の病原体に対して生体が生まれながらにもっている抵抗性。
- *3 **獲得免疫**: 生後に、感染・予防接種などにより得られた免疫。

鳥取大学医学部について

国立大学法人鳥取大学医学部が「山陰地方の医療の殿堂」として積み重ねてきた歴史は既に 70 年以上。著しい高齢化等、地域特性を生かした医学・医療への取り組みが独創的かつ先進的な教育・研究風土を育んできました。蓄積された成果は地域医療のみならず国際的にも高評価。それを礎に医学科・生命科学科・保健学科の 3 学科が連携、生命の尊厳を重んじ創造性に富む医療人・生命科学者を育成しています。

また、附属病院とも連携し、最先端高度医療の実践教育を行う一方、他の病院との関わりを通して、地域全体が大きな医療機関であるとした視点を持ち、これからの日本の医療の範となるよう大きな目標を掲げ歩み続けます。

アステラス製薬について

アステラス製薬株式会社 (<http://www.astellas.com/jp/>) は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。既存の重点疾患領域である泌尿器、がん、免疫科学、腎疾患、神経科学に加えて、新たな疾患領域への参入や新技術・新治療手段を活用した創薬研究にも取り組んでいます。さらには各種医療・ヘルスケア事業との融合による新たな価値創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。

注意事項(アステラス製薬)

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

鳥取大学
医学部附属病院 新規医療研究推進センター
研究実用化支援部門 TEL: 0859-38-6745 FAX: 0859-38-6746

アステラス製薬株式会社
広報部
TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473